

みずほ会 グループ 組織図 (令和5年 4月～)



ともえ福祉会 役員(理事・評議員・監事)

役職名	氏名	所属
理事長	清水 ひとみ	社会福祉法人ともえ福祉会 理事長
理事	畠山 京子	広島都市学園大学 健康科学部 看護学科 非常勤講師
理事	吉長 成恭	甲子園短期大学 特任教授 教育センター長
理事	中田 敬司	神戸学院大学 現代社会学部 社会防災学科 教授
理事	齊藤 清	社会福祉法人ともえ福祉会 特別養護老人ホームともの家 施設長
理事	坂本 智恵	社会福祉法人ともえ福祉会 ともえ保育園 園長
評議員	馬杉 知佐	比治山大学 短期大学部幼児教育科 准教授
評議員	兼重 雅宏	鈴が峰地区社会福祉協議会 会長
評議員	河野 喬	広島文化学園大学 人間健康学部 スポーツ健康福祉学科 准教授
評議員	清水 鐵也	白鳥地区社会福祉協議会 元顧問
評議員	佐々木 みどり	井口台地区民生委員児童委員協議会 副会長
評議員	野口 生子	教育学博士 元安田女子大学 文学部 助教授
評議員	濱島 淑恵	大阪公立大学 現代システム科学域 准教授
監事	藤井 靖尚	司法書士藤井靖尚事務所 所長
監事	鎌倉 隆文	鎌倉司法書士行政書士事務所 所長
評議員選任解任委員	柿木田 健	社会福祉法人広島常光福祉会 理事長

社会福祉法人ともえ福祉会 理念

『私たちのかかわる全ての人が幸せだと言える社会をつくる』

全ては私たちが源泉。

「愛と感謝」に溢れ、「夢と希望」に満ちた施設を創りましょう。

愛と感謝

短所を許し補い、長所にかかわる実力を持つことで、人は、他者または自分と一緒に生きていくためにはどうしたらよいのだろうかと考え始め、それを実行しようとする。

それが愛のはじまり。

私たちは人生の終末をご一緒する仕事です。

「愛をカタチにすること」でお互いに安らぎを感じ、ありがたいという気持ちが湧いてくるのではないのでしょうか。

入居者さん、利用者さんが終末を迎えられた時、ご本人、ご家族からだけでなく、私たちが「ありがとうございました」を心から伝えられるように。

夢と希望

愛を感じて、自分にも他者にも愛を与える生き方をすると未来に希望が湧いてくる。

希望が湧いてくることで、自分だけでなく全ての人が幸せになる為には「何をすべきか=使命」がみえてきて、その世界を描くようになる。それが夢。

私たちが夢を持って、そこに生きる姿をみて、次世代の子ども達に希望が湧いてくる。

「どんな未来に生きたいのか」それを考え、イメージし、その世界を創り出す私たちでありたい。

「未来をみよう」

私たちはいずれ亡くなりますが、世界は続いていきます。

次世代の人々にどんな世界を残したいですか？

現在、

日本の総人口は 1億2477万人

・ 15歳未満人口は 1456万人

・ 15～64歳人口は 7426万人

・ 65歳以上人口は 3625万人

平均寿命 女性87歳/男性81歳

健康寿命 女性75歳/男性72歳

では、日本の未来はどうなっていくのでしょうか。

未来をみることで、今、すべきことがみえてきます。

どんな人生を過ごしたいのか、

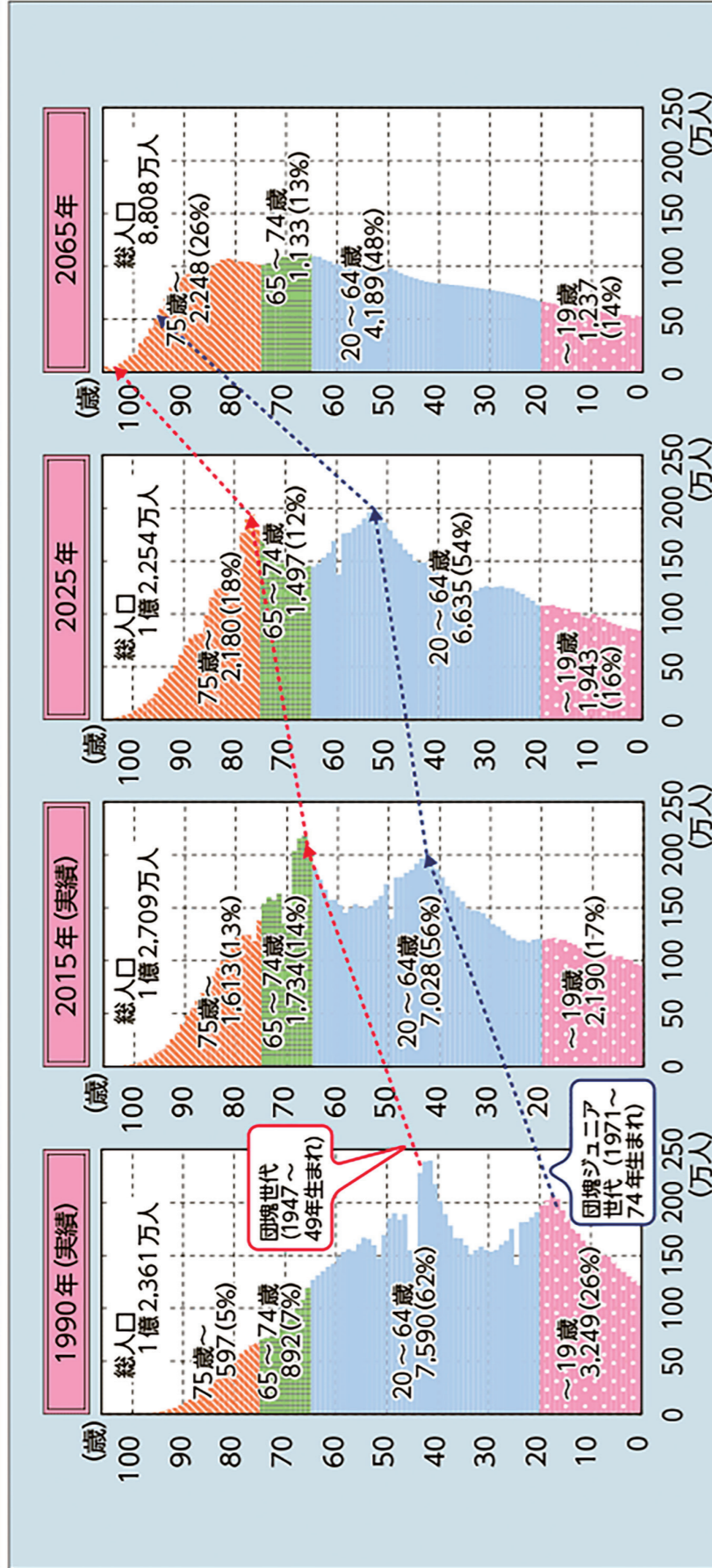
どんな仕事をしたいのか、

自分の人生、家族の人生と共に

日本の未来、介護、保育の未来もイメージしてみましょう。



図表 1-1-1 人口ピラミッドの変化 (1990、2015、2025、2065) - 平成29年中位推計 -

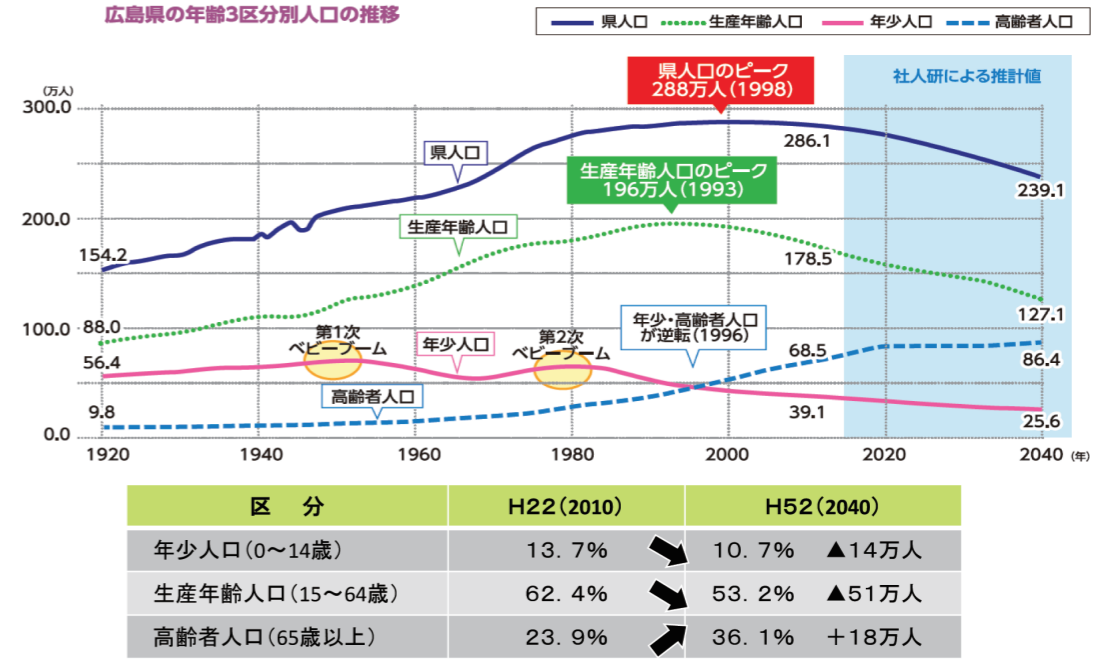


出所：実績値 (1990年及び2015年) は総務省「国勢調査」をもとに厚生労働省作成、推計値 (2025年及び2065年) は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口 (平成29年推計)：出生中位・死亡中位推計」(各年10月1日現在人口)

(注) 1. 1990年及び2015年の総人口は、年齢不詳を含む。
 2. 「75歳～」「65～74歳」「20～64歳」「～19歳」の各人口構成比は、年齢不詳を除いており、また1歳ごとの各年齢を万人単位としたうえで算出している。

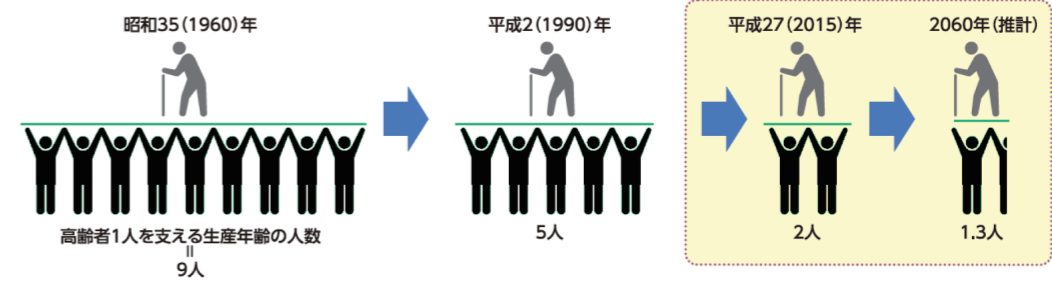
広島県の人口の推移

2010年から2040年にかけて、
 総人口は47万人、生産年齢人口は51万人減少。高齢者人口は18万人増加



社会保障への影響

2060年には、現役世代1.3人で高齢者を支える社会へ



《経済への影響》

県全体の人口が減少すると、消費市場としての相対的な魅力を失うことで、対人サービス関連業種を始めとする企業の県外転出が進むと考えられる。

その結果、労働市場は縮小に向かい、失業と人口の流出が起これ、そのことが更に地域経済の縮小を招くといった『負のスパイラル』に陥るおそれがある。

(出所)「広島県の少子化・人口減少対策」2016.11.30 日韓共同セミナー